

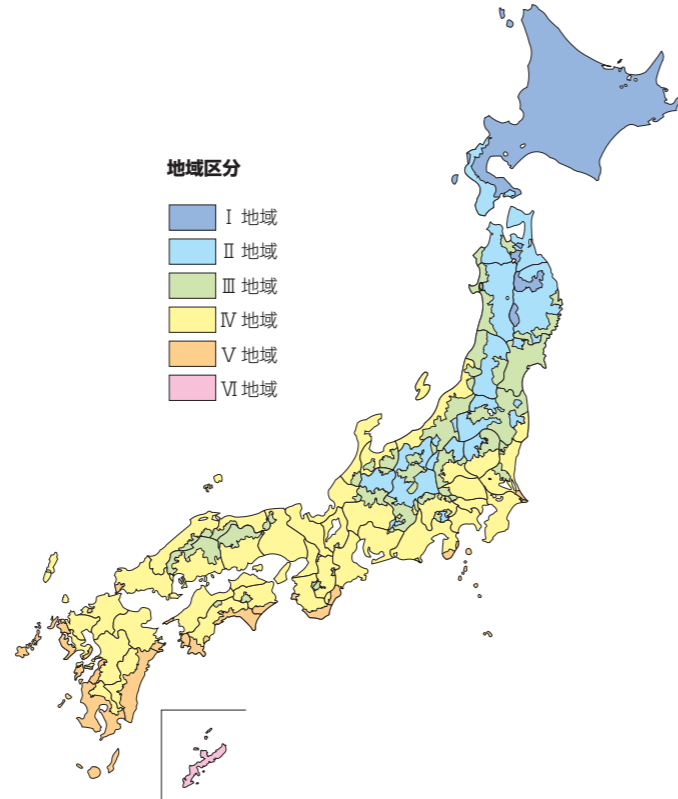
平成11年省エネルギー基準とは

地球温暖化防止の一環として、住宅におけるエネルギー消費にともなうCO<sub>2</sub>（温室効果ガス）の排出削減を目的として定められた基準です。断熱性・気密性・防露性・日射遮蔽性・換気など、住宅の省エネルギー性能に関わる基準が定められ、平成11年に国土交通省（旧建設省）および経済産業省（旧通産省）から「住宅に係るエネルギーの使用の合理化に関する基準」として告示されました。

なお従来は県別に定めていた省エネルギー地域区分を、「平成11年省エネルギー基準」では地域の気候の実態により適応させるために市町村別に区分を定めています。

地域区分

- I 地域
- II 地域
- III 地域
- IV 地域
- V 地域
- VI 地域



「窓」から変わる日本の住宅

現代の日本の住宅はエアコンなどによる冷暖房を前提につくられており、気密化・断熱化がすすんでいます。それとともなって「窓」にも、エネルギーロスを少なくするよう、より一層の断熱性能が求められています。そのために断熱性能の高い「平成11年省エネルギー基準」に適合した「窓」を使うことで、夏も冬も快適、しかも冷暖房コストを抑える省エネ性の高い住宅が実現できます。1軒1軒の省エネ対応が、日本全体で大きな省エネ効果をもたらします。

地域に適合した「サッシ」と「ガラス」の主な組合せ例

※地域によって基準の適合が異なります。詳しくは(財)建築環境・省エネルギー機構(IBE)のホームページ[http://www.ibec.or.jp/]をご覧ください。

| 地域      | 窓の交換         |                    | 内窓追加            | ガラス交換              | 熱貫流率 (W/m <sup>2</sup> ・K) |
|---------|--------------|--------------------|-----------------|--------------------|----------------------------|
|         | 適合サッシ        | 適合ガラス              |                 |                    |                            |
| I・II 地域 | 樹脂サッシ        | 低放射複層ガラス (as:12mm) | 複層ガラス (as:12mm) | 低放射複層ガラス (as:12mm) | 2.33                       |
|         | アルミ樹脂複合サッシ   |                    |                 |                    |                            |
| III 地域  | アルミ樹脂複合サッシ   | 複層ガラス (as:12mm)    | 複層ガラス (as:6mm)  | 低放射複層ガラス (as:6mm)  | 3.49                       |
| IV 地域   | 複層ガラス用アルミサッシ | 複層ガラス (as:6mm)     | 単板ガラス           | 複層ガラス (as:6mm)     | 4.65                       |
| V 地域    | 複層ガラス用アルミサッシ | 複層ガラス (as:6mm)     | 単板ガラス           | 複層ガラス (as:6mm)     | 4.65                       |

※ as:空気層。数値は空気層の厚さ。

窓の省エネ・リフォームに関しては、下記ホームページをご覧ください。

板硝子協会

<http://www.ecoglass.jp/>

- 旭硝子(株) <http://www.asahiglassplaza.net/>
- 日本板硝子(株) <http://glass-wonderland.jp/>
- セントラル硝子(株) <http://www.cg-glass.jp/ecoglass/>

(社)日本サッシ協会

<http://www.jsma.or.jp/>

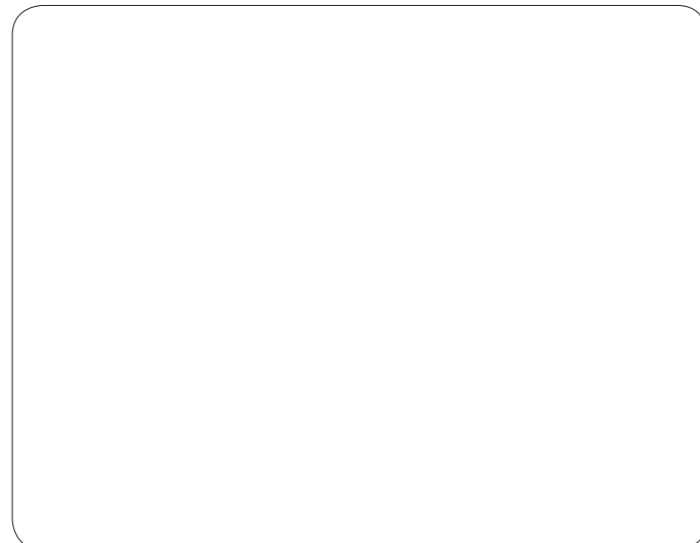
- 三協立山アルミ(株) <http://www.sankyotateyama-al.co.jp/>
- 新日軽(株) <http://www.shinnikkei.co.jp/>
- トステム(株) <http://www.tostem.co.jp/>
- 不二サッシ(株) <http://www.fujisash.co.jp/>
- YKK AP(株) <http://www.ykkap.co.jp/>

プラスチックサッシ工業会

<http://www.p-sash.jp/>

- (株)エクセルシャノン <http://www.excelshanon.co.jp/>
- 大信工業(株) <http://www.daishin-kogyo.co.jp/>
- (株)メルツェン <http://merwin.jp/>
- 旭硝子(株) <http://www.agc.co.jp/>

窓の省エネ・リフォームのご用命は、下記にご相談ください。



# 窓の省エネ・リフォーム

快適な住まいにしたいなあ…。

真冬でも暖かくて快適! しかも省エネ!

今がチャンス!

居室の窓の省エネ・リフォームをすると、工事費の10%が戻ります! 詳しくは、このパンフレットをご覧ください。

板硝子協会  
プラスチックサッシ工業会

(社)日本サッシ協会  
全国複層硝子工業会

# 省エネ・リフォーム投資減税って、どんな制度？

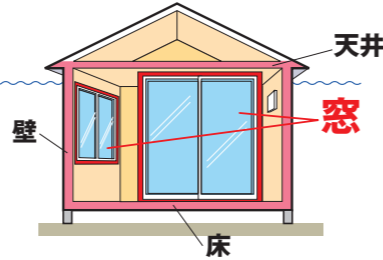
居室の窓を省エネ・リフォームすると工事費用の**10%**が所得税から控除されます！

※控除対象限度額は200万円です。但し省エネ・リフォーム工事費用が30万円を超えるもの。

※ローン減税との選択制です。ローン減税の詳細については、別途お問い合わせください。  
※固定資産税の減額(120m<sup>2</sup>相当分までの3分の1が減額)との併用も可能です。

## Q どこをリフォームすればいいの？

すべての居室の窓をリフォームする必要があります。同時に壁・天井・床の断熱工事を行った場合、その費用を控除対象額に含めることができます。



## Q どんなことすれば省エネ・リフォームになるの？

平成11年省エネルギー基準に適合した窓や建材を使ったリフォームです。ただし既に平成11年省エネルギー基準に適合している窓を改修する場合は対象になりません。

▶ P5・6 種類とその内容

## Q 誰に頼めばいいの？

窓のリフォームをしている大工・工務店や専門業者などです。  
※「平成11年省エネルギー基準に合ったリフォームをしている」という証明が必要なため、税務署に提出する建築士等が発行する証明書が必要になります。

▶ P3 申告手続き

## Q いつからいつまで？

平成21年4月1日から平成22年12月31日までに工事を完了し、自らが住まいになっている場合が対象になり、その年1年に限り、税務署で確定申告をして控除を受けられます。

## Q 居室の窓の省エネ・リフォームはいくらかかるの？いくら戻るの？

工事費用の10%が戻ります。  
※控除対象限度額は200万円です。但し省エネ・リフォーム工事費用が30万円を超えるもの。  
※控除対象限度額は、「改修に要した費用の額」と、国土交通省が定めた「標準的な工事費用相当額」(P6参照)とのいずれか少ない金額となります。

▶ P5・6 種類とその内容

たとえば…

| Aさんの場合                    | Bさんの場合                       |
|---------------------------|------------------------------|
| ■居室の窓(10窓)に内窓を追加した場合      | ■居室の窓(15窓)を高断熱窓に変えた場合        |
| 居室の窓(10窓)の内窓の材料費と工事費 80万円 | 居室の窓(15窓)の窓の材料費と取換え工事費 240万円 |
| 所得税控除額(80万円の10%) 8万円      | 所得税控除額(限度額200万円の10%) 20万円    |

省エネ・リフォームの種類により、かかる費用は異なります。P5・6をご参照ください。

# 税の控除を受けるまでのフロー



## 申告手続き

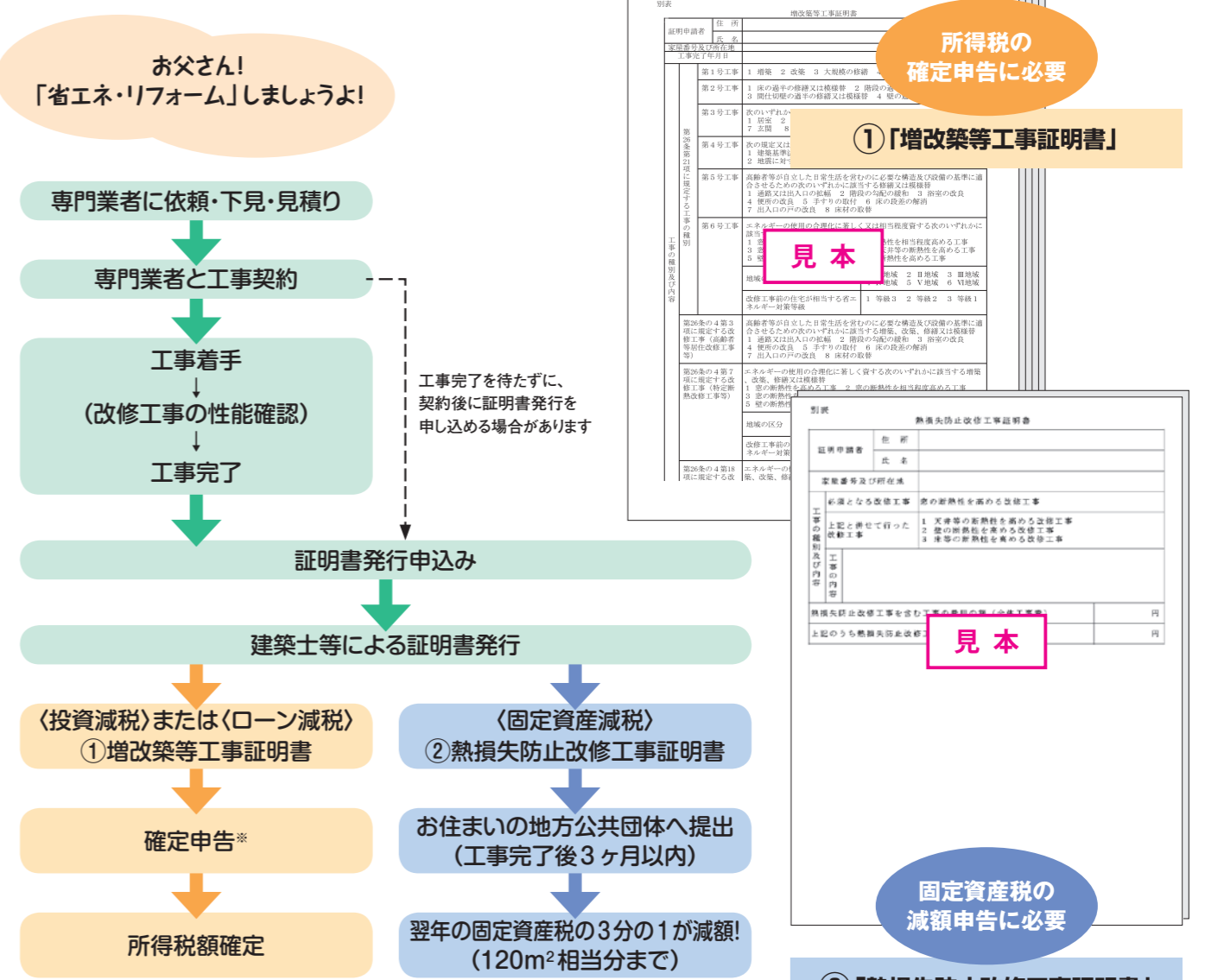
工事内容が税の控除を受けられることを確認して、「増改築等工事証明書」「熱損失防止改修工事証明書」を発行してもらおう！

### Q 何に必要なの？

所得税の確定申告および固定資産税の減額申告の際に必要な書類です。

### Q 誰に頼むの？

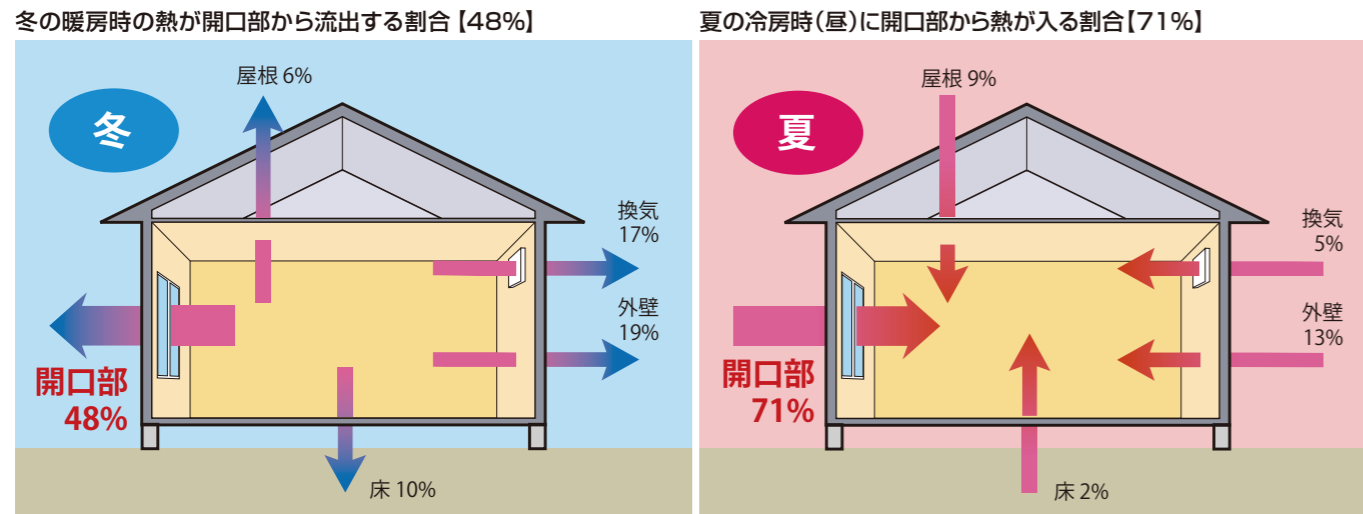
建築士事務所に所属する建築士、指定確認検査機関、登録住宅性能評価機関のいずれかになります。



※確定申告の必要書類については、納税先の税務署等へ、固定資産税減額申請の必要書類については、お住まいの市区町村へお問い合わせください。



**冬は、約50%の熱が「窓」から逃げています!**  
**夏は、約70%の熱が「窓」から侵入しています!**



出典: 社団法人 日本建材産業協会 省エネルギー建材普及促進センター 「21世紀の住宅には、開口部の断熱を…」より、平成4年省エネ基準で建てた住宅モデルにおける例

こんなこと、ありませんか?



- ①暖房がついているのに窓に近づくとヒンヤリする。
- ②窓から隙間風が入ってくる。
- ③結露で窓枠などが黒ずんでいる。
- ④冬、暖房を止めるとすぐに家の中が寒くなる。
- ⑤冷暖房コストが非常に高い。
- ⑥暖房していない部屋から冷気が入って気になる。
- ⑦リビングと玄関、トイレ、脱衣所との温度差を少なくしたい。
- ⑧地球温暖化防止(CO2削減)に貢献したい。

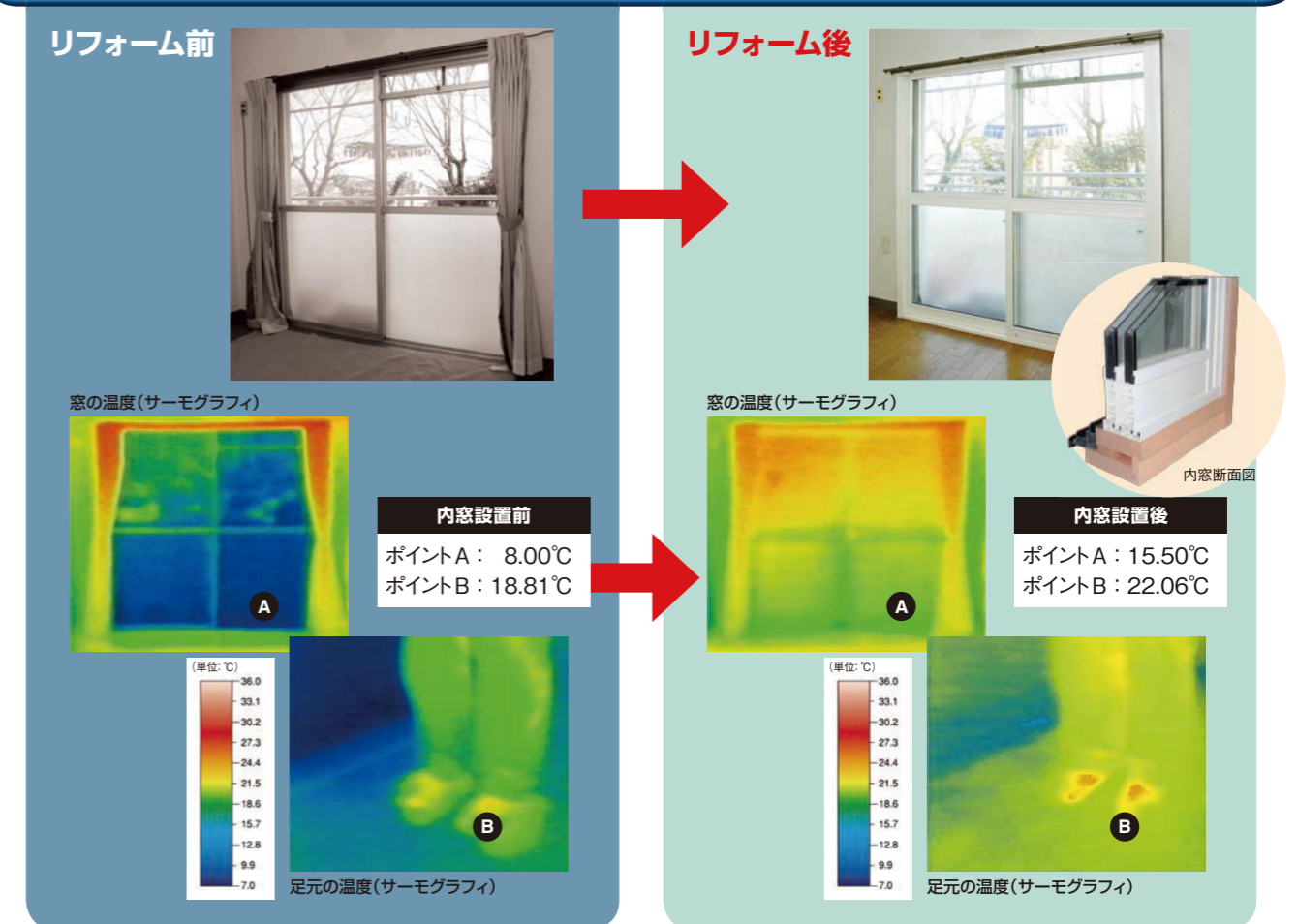


**「内窓」の追加でさらに快適、省エネ!**

今ある窓の内側に、さらに「内窓」を取付けることで、住まいの快適さは格段にアップ。さらに冷暖房コストはグーンと軽減されます。



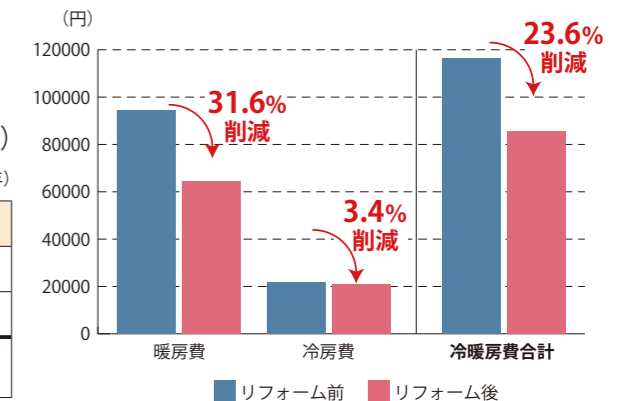
リフォーム後は窓はもちろん、足元まで全体的に暖まっているのがわかります!



窓の省エネ・リフォームによる冷暖房費の比較 (東京でのシミュレーションモデル)

対象地区: 東京(延床面積: 147m<sup>2</sup>)  
 暖冷房の効率: COP 3.00  
 リフォーム前: アルミサッシ(単板ガラス)  
 リフォーム後: アルミサッシ(単板ガラス)+樹脂製内窓(複層ガラス)

|     | リフォーム前  | リフォーム後 | 差額     | 低減率   |
|-----|---------|--------|--------|-------|
| 暖房費 | 94,413  | 64,568 | 29,845 | 31.6% |
| 冷房費 | 21,785  | 21,053 | 732    | 3.4%  |
| 計   | 116,198 | 85,621 | 35,577 | 23.6% |



※電気料金: 22.34円/kWh

出典: 樹脂サッシ普及促進委員会「快適窓学」より

窓の省エネ・リフォーム おすすめプラン

リビングや寝室の窓を「断熱性が高い窓」にリフォーム

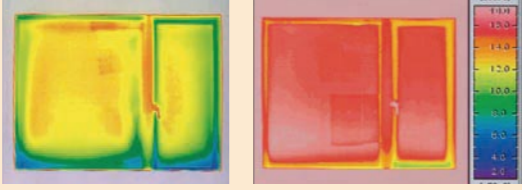

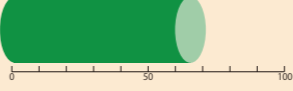
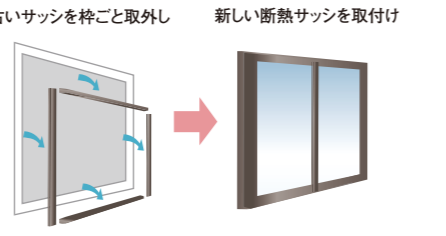



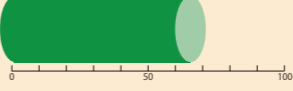

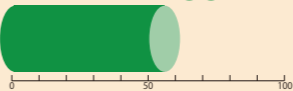
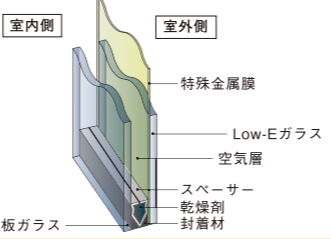

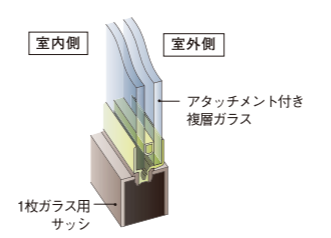
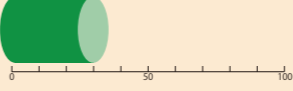
いつも生活する部屋(居室)を快適にしたいという方へお勧めします。

全ての窓を「断熱性が高い窓」にリフォーム

トイレや脱衣所との温度差を少なくして、住宅全体の快適性を向上したいという方へお勧めします。

※省エネ・リフォーム投資減税の対象は居室の窓であり、適用を受けるためには、すべての居室の窓をリフォームする必要があります。

# 窓の省エネ・リフォーム 種類とその内容

| 種類       | 商品名                                   | 工事内容  | モデル棟 <sup>※3</sup> の参考工事価格 <sup>※4</sup>  | 標準工期  | 窓ごとの熱エネルギー削減率<br>(熱貫流率からの比較)  |
|----------|---------------------------------------|---|---|-------|---|
|          |                                       |   | 居室の窓交換<br>(窓数:10窓)                        |       |   |
| 窓の交換     | 高断熱窓に交換<br>(低放射複層ガラス使用) <sup>※1</sup> | 窓ごとそっくり交換。部屋ごとリフレッシュ!<br>室内側はやさしい樹脂、外側は堅牢なアルミで安心な生活をサポート!<br><b>窓表面温度の比較</b><br><br>一般的なアルミサッシ      アルミ+樹脂のサッシ<br> | 110万円～130万円<br>+<br>内外壁補修工事費<br>50万円～60万円 | 1週間程度 | 数値が大きいほど、省エネ効果が高いことを示します。<br><b>熱エネルギー削減率 約64%</b> <sup>※5</sup><br><br>[アルミサッシ(単板ガラス入り)]から「アルミ樹脂複合サッシ(低放射複層ガラス入り)」に交換 |
|          | 断熱窓に交換                                | 窓ごとそっくり交換。部屋ごとリフレッシュ!<br>内外ともオールアルミのため、いつでも清潔・堅牢!<br><b>断熱窓の交換手順</b><br>古いサッシを枠ごと取外し      新しい断熱サッシを取付け<br><br>     | 80万円～100万円<br>+<br>内外壁補修工事費<br>50万円～60万円  | 1週間程度 | <b>熱エネルギー削減率 約29%</b><br><br>[アルミサッシ(単板ガラス入り)]から「アルミサッシ(複層ガラス入り)」に交換   |
| 内窓の追加取付け | 複層ガラス入り内窓                             | 既存窓の室内側に、樹脂内窓を追加取付けして「二重窓」に变身!<br>   | 80万円～95万円                                 | 1日～2日 | <b>熱エネルギー削減率 約64%</b><br><br>[アルミサッシ(単板ガラス入り)]に「内窓(複層ガラス入り)」を追加   |
|          | 単板ガラス入り内窓                             | 引違い窓      開き窓      FIX窓<br>   | 65万円～80万円                                 | 1日～2日 | <b>熱エネルギー削減率 約55%</b><br><br>[アルミサッシ(単板ガラス入り)]に「内窓(単板ガラス入り)」を追加  |
| ガラス交換    | 一般複層ガラスを低放射複層ガラスに交換                   | 既存窓のガラスのみを交換する。<br>一般複層ガラス      →      低放射複層ガラス<br>  | 70万円～90万円                                 | 1日～2日 | <b>熱エネルギー削減率 約33%</b><br><br>アルミ樹脂複合サッシのガラスを「複層ガラスas12」から「低放射複層ガラスas12」に交換<br>※as:空気層。数値は空気層の厚さ(mm)。                 |
|          | 単板ガラスを複層ガラスに交換                        | 単板ガラス      →      アタッチメント付複層ガラス <sup>※2</sup><br>  | 60万円～70万円                                 | 1日～2日 | <b>熱エネルギー削減率 約29%</b><br><br>アルミサッシのガラスを「単板ガラス」から「アタッチメント付複層ガラス」に交換  |

※1 低放射複層ガラス(Low-E複層ガラス): 2枚のガラスをセットにした複層ガラスの内側に特殊な金属膜(Low-E膜)をコーティングしたものです。ガラスにはさまれた中空層とLow-E膜によって、高い可視光透過率を有しながら、高断熱性能と優れた遮熱性能を発揮します。(エコガラスともいう)  
 ※2 アタッチメント付複層ガラス: 単板用サッシのガラスを複層ガラスに交換するために専用部材(アタッチメント)を使っている複層ガラスです。住宅サッシの品種によっては、取付け後、網戸の開閉やクレセントの錠掛け等に不具合が発生する場合がありますので、事前に専門業者にご相談ください。



## 生活者の声

### 窓の交換

- エアコンをつけた時に、部屋の暖まり方が早く、以前はあった朝夕の結露の発生が抑えられました。
- ピアノ練習部屋に取付けたら防音効果があり、音漏れも少なくなりました。

### 内窓の追加取付け

- 既存の窓からのすきま風と結露の発生が抑えられ、取付け工事もカンタンで、見た目も良く、大変気に入っています。

### ガラス交換

- 就寝中の冷気の侵入や、ガラス面の結露の拭き取りが大分減りました。取付け工事も短くて済みました。



国土交通省が定めた

## 「標準的な工事費用相当額」

(平成21年経済産業省・国土交通省告示第四号より抜粋)

- 標準的な工事費用相当額は、改修工事の内容に応じた単位当たりの金額に、改修する家屋のうち居住の用に供する部分の床面積の合計を乗じた金額となります。

- 控除対象限度額は、「改修に要した費用の額」と、国土交通省が定めた「標準的な工事費用相当額」とのいずれか少ない金額となります。

| 改修工事の内容           | 単位当たりの金額<br>(円/床面積当り)  |
|-------------------|------------------------|
| サッシ交換 [I~III地域]   | 19,600円/m <sup>2</sup> |
| サッシ交換 [IV・V地域]    | 16,000円/m <sup>2</sup> |
| 内窓の新設・交換 [I・II地域] | 12,000円/m <sup>2</sup> |
| 内窓の新設 [III~V地域]   | 8,000円/m <sup>2</sup>  |
| ガラス交換 [IV~VI地域]   | 6,600円/m <sup>2</sup>  |

※3 モデル棟: 自立循環モデル住宅 (IBEC: 温暖地用)

※4 参考工事価格: 工事費込みであくまでも参考値です。内外壁補修工事費は現場によって異なります。内外壁補修工事は乾式工法の場合です。地域、施工内容によって差があります。

※5 窓ごとの熱エネルギー削減率: 窓を「アルミサッシ(単板ガラス入り)」から「アルミ樹脂複合サッシ(低放射複層ガラス入り)」に交換することにより、窓から逃げる熱エネルギーを64%削減することができます。出典: (財) 建築環境・省エネルギー機構 (IBEC) 「住宅の省エネリフォーム税制の手引きについて」平成21年4月より